

J Aバンク埼玉における地域密着型金融の取組状況（令和7年度）

J Aバンク埼玉（埼玉県下15 J Aと埼玉県信用農業協同組合連合会（以下、「信連」という。））では、農業と地域社会に貢献するため、2025～2027年度 J Aバンク埼玉中期戦略に基づき地域密着型金融の推進に取り組んでおります。

令和7年度の地域密着型金融の取組状況について取りまとめましたので、ご報告いたします。

1 農山漁村等地域の活性化のための融資をはじめとする支援 （J Aバンク埼玉の農業メインバンク機能強化への取組み）

J Aバンク埼玉は、地域における農業者との結び付きを強化し、地域を活性化するため、次の取組みを行っております。

（1）農業融資商品の適切な提供・開発

J Aバンク埼玉は、各種プロパー農業資金を提供するとともに、農業近代化資金や日本政策金融公庫資金の取扱いを通じて、農業者の農業経営と生活をサポートしております。

令和8年3月末時点の J Aバンク埼玉の農業関係資金残高^{（注1）}は13,645百万円、日本政策金融公庫等の受託貸付金^{（注2）}残高は9,688百万円を取り扱っております。

（注1）農業関係資金とは、農業者及び農業関連団体等に対する貸出金であり、農業生産・農業経営に必要な資金や、農産物の生産・加工・流通に関する事業に必要な資金等が該当します。

（注2）J Aバンク埼玉が農業者の窓口となり、日本政策金融公庫などの貸付金の受託取り扱いを行っております。受託貸付金残高には、J A転貸分を含みます。

【営農類型別農業資金残高】（単位：百万円）

種 類	令和8年3月末現在
農業	
穀作	3,438
野菜・園芸	4,716
果樹・樹園農業	653
工芸作物	350
養豚・肉牛・酪農	283
養鶏・鶏卵	224
養蚕	—
その他農業	2,164
農業関連団体等	1,814
合 計	13,645

（注）

1 「その他農業」には、複合経営で主たる業種が明確に位置づけられない者、農業サービス業、農業所得が従となる農業者等が含まれております。

2 「農業関連団体等」には、J Aや全農（経済連）とその子会社等が含まれております。なお、本残高には、信用事業を行う系統団体に対する日銀成長基盤強化資金等の制度資金の原資資金が含まれています。

【資金種類別農業資金残高】 (単位：百万円)

種 類	令和8年3月末現在
プ ロ パ ー 資 金	11,423
農 業 制 度 資 金	2,222
うち 農 業 近 代 化 資 金	2,170
うち そ の 他 制 度 資 金	51
合 計	13,645

(注)

- 1 プロパー資金とは、JAバンク原資の資金を融資しているもののうち、農業制度資金以外のものをいいます。なお、プロパー農業資金には、信用事業を行う系統団体に対する日銀成長基盤強化資金等の原資資金が含まれております。
- 2 農業制度資金には、①地方公共団体が直接的又は間接的に融資するもの、②地方公共団体等が利子補給等を行うことでJAバンク埼玉が低利で融資するもの、③日本政策金融公庫等が融資するものがあり、ここでは①③の転貸資金と②を対象としております。
- 3 その他制度資金には、農業経営改善促進資金(スーパーS資金)や農業経営負担軽減支援資金などが該当します。

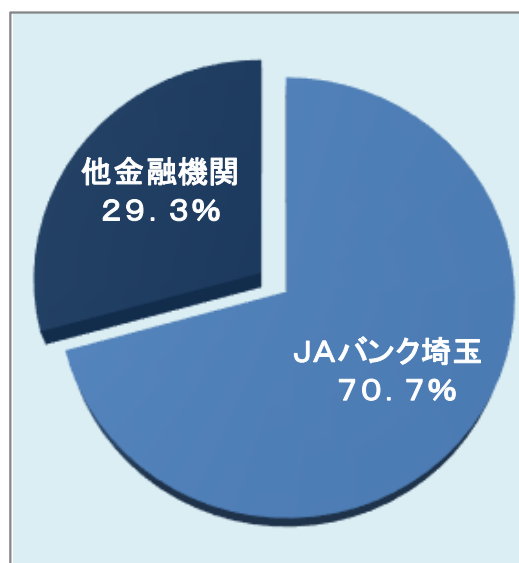
【農業資金の受託貸付金残高】 (単位：百万円)

種 類	令和8年3月末現在
日 本 政 策 金 融 公 庫 資 金	9,688
そ の 他	—
合 計	9,688

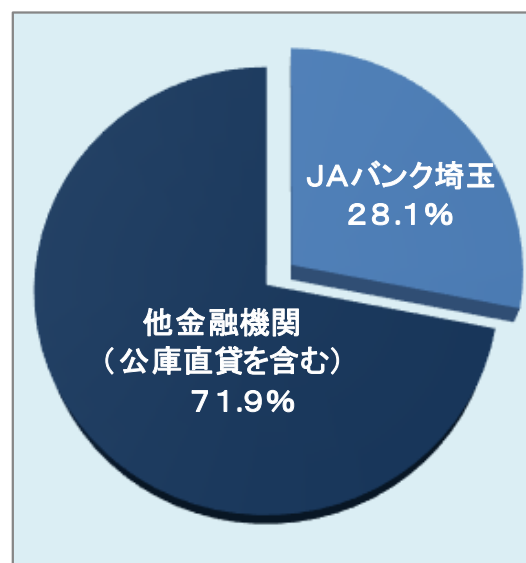
JAバンク埼玉は、主要な農業関係の制度資金である農業近代化資金や日本政策金融公庫資金の取扱いにおいて、高いシェアを占めております。

【埼玉県の農業近代化資金及び公庫農業資金の残高シェア】

農業近代化資金
(令和7年12月末時点)



公庫農業資金
(令和8年3月末時点)



(2) 担い手のニーズに応えるための体制整備

J Aバンク埼玉では、地域の農業者との関係を強化・振興するための体制整備に取り組んでおります。

J Aでは、本支店の農業融資担当者が、営農・経済部門等と連携しながら、農業融資に関する訪問・資金提案活動を実施しております。

信連では、J Aのサポート・指導機能、農業法人等への融資相談を担う「県域農業金融センター機能」を構築しており、これらの機能の拡充、強化に努めております。

なお、こうした活動を支える体制として、県内15 J A及び信連の本店に、豊富な農業金融知識をもった農業融資の実務リーダーである「担い手金融リーダー」を計36名配置しております（令和8年4月1日時点）。

また、農業融資の実務に即した資格の取得を通じ、農業金融に関する知識・ノウハウの一層の充実を図り、多様化・専門化する農業者の金融ニーズに応えていくことを目的として、J A系統独自の農業融資資格制度「J Aバンク農業金融プランナー」を導入しており、県内では累計924名が取得しております（令和8年3月末時点）。

なお、J Aバンク埼玉では、信連ほか県域の各連合会が一体となり、共通機構である「担い手サポートセンター」を構築し、担い手への個別支援・事業提案等、事業部門を横断した総合的なサポートに取り組んでおります。

(3) J A内事業間連携の強化

農業者の多様なニーズにJ Aをあげて応えていくため、営農・経済事業等との合同会議・研修会の開催や農業者への同行訪問等により、これまで以上に、J A内事業間連携を強化しております。

【具体的取組事例】

取組名	内容	対象 JA	実施回数
担い手金融リーダー会議	J Aバンク埼玉における農業融資推進に係る取組方針の説明並びに担い手金融リーダー間の情報交流等	県内全 JA	2 回
重点推進先同行訪問	農業融資残高の維持・伸長に向けた、T A C等との重点推進先への同行訪問	さいたま、埼玉みずほ、埼玉中央、くまがや、ほくさい	6 回

(4) 食農バリューチェーン構築による農業・地域の成長支援（商談会・ビジネスマッチング）

J Aバンク埼玉は、農林水産業の事業力・収益力強化のため、商談会・ビジネスマッチングによる販路拡大支援等の農商工連携に取り組んでおり、「農業者と産業界の架け橋」として多様な機能を発揮しております。

【令和7年度 商談会等開催状況】

商談会名	開催日程	主催者	参加団体数	総来場者数	成約状況等
農と食の展示・商談会 埼玉県農商工連携フェア	令和7年12月2日	埼玉県	177団体	3,946名	-
ビジネスマッチング	通年	信連	-	-	提案数:22件 成約数:3件

〈農と食の展示商談会埼玉県農商工連携フェア〉


**彩の国
埼玉県**

出展者募集



**埼玉の産品を求めるバイヤーとの効果的な商談が可能！
県内の出展事業者との連携による新たなビジネスのきっかけに！**



**令和7年度
埼玉県農商工連携フェア**

出展者募集

日時
令和7年12月2日(火)
10:00～17:00

会場
さいたまスーパーアリーナ
コミュニティアリーナ

申込締切
(先着順)
**令和7年
9月30日(火)**

問い合わせ/申し込み先

埼玉県 農林部 農業ビジネス支援課
販売対策・6次産業化担当
メール: a4105-09@pref.saitama.lg.jp
TEL: 048-830-4095(直通)
FAX: 048-830-4830
申込書をダウンロードの上、
メール又はFAXにてご送付ください。
応募方法などの詳細はこちらから▶



主催 埼玉県 **共催** (株)埼玉りそな銀行、J Aグループさいたま

後援 関東農政局、関東経済産業局、(独)中小企業基盤整備機構関東本部、(株)日本政策金融公庫、(公財)埼玉県産業振興公社、
(一社)埼玉県商工会議所連合会、埼玉県商工会連合会、(一社)埼玉中小企業家同友会、埼玉県中小企業団体中央会、
(一社)埼玉県物産観光協会、(公財)埼玉りそな産業経済振興財団、(独)日本貿易振興機構(ジェトロ)埼玉貿易情報センター

2 担い手の経営のライフステージに応じた支援

J Aバンク埼玉は、担い手をサポートするため、ライフステージに応じて、次の取り組みを行っております。

(1) 新規就農者の支援

J Aバンク埼玉では、新規就農者の経営と生活をサポートするため、青年等就農資金などを取り扱っております。

【新規就農者をサポートする資金の取扱い実績】

(単位：件、百万円)

種 類	令和7年度 実行件数	令和7年度 実行金額	令和8年3月末 残 高
青年等就農資金	30	362	1,627
就農支援資金	-	-	-
そ の 他	-	-	-
合 計	30	362	1,627

(2) J Aバンク埼玉講演会・セミナー等の開催

J Aバンク埼玉では、農業者等のお取引先様を招いた各種セミナーを例年開催しております。円滑な資産承継をサポートするため、財産承継セミナーや資産運用・相続セミナー等を実施し、一人ひとりのお悩みや想いを伺いながら、その解決と実現に向け丁寧なご提案を行っております。

【J A毎の講演会・セミナー開催実績】

形態	内容	主催者	延べ実績	
			開催 数	参加人数
資産形成・運用 セミナー	・資産形成、運用の必要性 ・証券投資の基礎知識等	J Aさいかつ	1回	12名
		J Aちちぶ	1回	100名
		計	2回	112名
相続・遺言セ ミナー	・相続全般、生前贈与、事例 ・遺言の必要性、遺言信託等	J Aさいたま	4回	45名
		J Aいるま野	11回	257名
		J Aさいかつ	4回	64名
		J Aほくさい	2回	31名
		計	21回	397名

(3) 災害等の被害を受けた方への支援

J Aバンク埼玉では、自然災害等が発生し、農業者等の支援が必要となった場合には、災害対策窓口の設置や災害対策資金の創設、個別融資先の経営状況に応じた償還条件の緩和等の対応をしております。
(単位：件、百万円)

取組事例	J A名	内 容	件数	貸付実行金額
平成26年大雪災害対策特別資金	J Aくまがや	平成26年2月14日から15日の大雪により、農産物及び農業用設備に被害を受けた組合員に対して、営農と生活に必要な資金を支援し、農業経営の安定を図ることを目的に実施。	30	57.8
農業災害資金	J Aくまがや	天災等の不慮の災害により被害を受けた農業者に対し、農業経営を維持安定させるために必要な低利の経営資金を迅速に融資し、災害の復旧と経営基盤の安定を図ることを目的に実施（元々資金自体は存在したが、令和2年4月よりコロナでの被害も対応とした）。	3	5.0
合 計			33	62.8

(4) 経営不振農家の経営改善支援

J Aバンク埼玉では、負債整理資金の対応にあたり、特別融資制度推進会議等を通じて関係機関と協議するなど、農業者の経営再建に向けて取り組んでおります。

【令和7年度の農業者の経営改善支援等の取組み実績】

(単位：先数)

					事業計画策 定率 ＝ a ／ A	ランクアッ プ率 ＝ b ／ A
		期初経営改善 支援取組先 A	Aのうち再 生計画を策 定した先数 a	Aのうち期 末に債務者 区分がラン クアップし た先数 b		
正常先①		令和7年度は該当なし				
要 注 意 先	うち					
	その他要注意先②					
	うち要管理先③					
破綻懸念先④						
実質破綻先⑤						
破綻先⑥						
	小計(②～⑥の計)					
合計						

(注) 期初経営改善支援取組先及び債務者区分は令和7年3月末時点のものです。

3 経営の将来性を見極める融資手法をはじめ、担い手に適した資金供給手法の提供

J Aバンク埼玉では、担い手の経営実態やニーズに適した資金の提供に努めております。

(1) 負債整理資金による軽減支援

J Aバンク埼玉では、農業者の債務償還負担を軽減し、経営再建を支援するため、負債整理資金を取り扱っております。

【令和7年度負債整理資金の貸出実績】

(単位：件、百万円)

資金名	令和7年度 実行件数	令和7年度 実行金額	令和8年3月末 残高
農業経営負担軽減支援資金	令和7年度は該当なし		
畜産特別資金			
その他			
合計			

- ・ 農業経営負担軽減支援資金は、営農に必要な資金を借り受けたために生じた負債の借換えのための制度資金であり、J Aなどの融資機関において取り扱っております。
- ・ 畜産特別資金は、過去の負債の償還が困難な畜産経営者に対する長期・低利の借換え資金であり、J Aなどの融資機関において取り扱っております。

4 農山漁村等地域の情報集積を活用した持続可能な農山漁村等地域育成への貢献

J Aバンク埼玉では、地域社会へ貢献するため、次の取組みを行っております。

(1) 食・農への理解促進

J Aバンク埼玉は、地域の小学生の農業に対する理解を促進するため、J Aバンク食農教育応援事業を展開し、農業にかかる教材「農業とわたしたちの暮らし」の配布や農業体験学習の受入れ等に取り組んでおります。

教材「農業とわたしたちの暮らし」は、J Aバンクを通じて、県下の小学校へ、77, 580部配布され、学校の授業等において活用されております。また、特別支援学級を扱う小学校5校及び特別支援学校5校へ287部配布いたしました（令和7年度実績）。

また、県下J Aでは、食農教育などの地域貢献活動に取り組んでいます。

【J Aバンク食農教育応援事業等による活動内容】

取組事例	J A名	内 容	取組時期
農機具展示会の開催（中古フェア及びローン相談会共催）	さいたま	持続可能な農業の発展に基づくトータル生産コストの低減を図るため、地域の生産者に向けた農機展示会を定期開催。	通年
くらしの活動を通じた組織の活性化	さいたま	組合員の拡大とアクティブメンバーシップの確立に基づき、くらしの活動を1支店年間1活動为目标に実施。	通年
年金友の会・共済友の会活動の活性化	さいたま	組合員・利用者の多様な類型に対応したメンバーシップ強化の一環として、各種友の会活動（会員の集い・誕生日プレゼント（年金）・青壮年の集い（チャリティーゴルフ・共済））を実施。	通年
女性部・フレッシュミズ組織活動の活性化	さいたま	部員数拡大・対話運動・女性活躍促進・J A運営参画等実施方策を掲げ、組織基盤の強化と活性化に向けた取組みを実施。	通年
青壮年部組織の活性化	さいたま	役員との意見交換や地域間交流の実施によって、組織基盤の強化と活性化に向けた取組みを実施。	通年
連携強化による地域活性化	さいたま	J Aサポーターの創設と接点強化及び健康増進活動の展開に基づき、農業体験・食農教育（出前授業・ふれあいイベント）・ミニデイサービスを開催。また、信連と連携した管内の高校での金融リテラシーに関する講義を実施。	通年
「総合的な農業者支援に関する要望書」の提出	さいたま	J A南彩と共同で、「総合的な農業者支援に関する要望書」をさいたま市へ提出。	通年
J Aさいたま大学の開講	さいたま	協同組合の原点に立ち返り、組合員・役職員がともに共同の理念を学び協同組合の実践を通じて協同組合人意識を高め、新たな時代における協同組合価値の創造と民主的な運営に資する幅広い知見	通年

取組事例	J A 名	内 容	取組時期
		と視野を持つ協同組合運動の担い手・リーダーを育成することを目的に開設。第 2 期受講生 14 名	
金融教育出前授業 (高校生向け)	さいたま	地域金融教育の一環として、管内の普通高校 3 年生を対象に「消費者教育」をテーマに出前授業を実施。	R7. 11. 19
地域利用者へのドライブライブラリーの開催	あさか野	組合員向けに収穫体験を通じて J A 及び農業への理解の醸成、地元農産物の地産地消を目的に『収穫体験ドライブライブラリー』を 2 回開催。(参加者 41 名、34 名 合計 75 名)。	R7. 9. 15 R7. 9. 27
農機具展示会開催	あさか野	農機具展示会開催時に、農業資金相談担当者による相談対応を実施(来場者 61 名)。	R7. 6. 28
よみうり楽々朝市	あさか野	組合及び読売新聞朝霞支部主催による朝市。地場産野菜の販売、旬の農産物の販売やイベントを実施。	R7. 7. 6 R8. 1. 18
健康教室	あさか野	専門のメディカルトレーナーによる姿勢改善の基本と日常生活で役立つエクササイズを実施(来場者 28 名)。	R7. 7. 4
金融教育出前授業 (小学生向け)	あさか野	地域金融教育の一環として、管内の小学校 5 年生 2 クラスを対象に「お金の使い方」、「野菜の育て方」の授業を実施。	R7. 12. 3
マグロ解体ショー	あさか野	和光農産物直売センターにて、マグロの解体ショーの開催。	R8. 2. 14
金融教育出前授業 (高校生向け)	いるま野	地域金融教育の一環として、管内の農業高校 1 年生を対象に「金融リテラシー」の出前授業を実施。	R7. 11. 11
融資課、営農渉外 (T A C) と連携した資金調達に係る担い手支援	越谷市	営農渉外(T A C) による担い手ニーズの確認を図り、各種助成事業の情報提供により担い手の資金調達相談対応を推進。	通年
金融教育出前授業 (小学生向け)	越谷市	地域金融教育の一環として、管内の小学校 2 年生を対象に「おかね教室」の出前授業を実施。	R7. 10. 17
スマート農業を活用した面的適期防除	埼玉みずほ	近年イネカメムシの被害が多発し、大幅な減収に見舞われていたことから、スマート農業を活用した広域的な空中散布の実施。	R7. 7 ~ 8 月
金融教育出前授業 (高校生向け)	埼玉みずほ	地域金融教育の一環として、管内の農業高校 3 年生を対象に「農業経営シミュレーションゲーム」の出前授業を実施。	R7. 11. 10
金融教育出前授業 (小学生向け)	南彩	地域金融教育の一環として、管内の小学校 4 ~ 6 年生(4 校)を対象に「おかね教室」の出前授業を実施。	R7. 7 ~ R8. 2

取組事例	J A 名	内 容	取組時期
金融教育出前授業 (小学生向け)	さいかつ	地域金融教育の一環として、管内の小学校 5～6 年生 (2 校) を対象に「おかね教室」の出前授業を実施。	R7. 11～ R8. 3
J A 埼玉中央 農 機展示会	埼玉中央	組合独自開催による展示会を実施。 農機等の販売の他にローン相談、共済相談、営農相談ブースを設置。	R7. 7. 19 R7. 12. 20
金融教育出前授業 (小学生向け)	埼玉中央	地域金融教育の一環として、管内の小学校 3 年生対象に「おかね教室」の出前授業を実施。	R7. 6. 18
金融教育出前授業 (小学校 PTA 向け)	埼玉中央	地域金融教育の一環として、管内の小学校の PTA (保護者) を対象に「お小遣い教育」の出前授業を実施。	R7. 10. 31
ドリームフェスタ	県内 J A	ドリームフェスタ出展 (埼玉県主催)。	R7. 11. 15 R7. 11. 16
埼玉県 県庁オー プンデー	県内 J A	県民の日に合わせて、埼玉県庁を開放して開催され行政ブース、ステージ、特産品グルメなどが楽しめるイベント、その中で特産農産物を P R 販売。	R7. 11. 14
農業従事者の総会 や部会	埼玉ひびきの	補助金の説明会など集まりがある際は 農機ハウスローンやアグリマイティといった農業系の資金の P R を行っている。	不定期
金融教育出前授業 (高校生向け)	ちちぶ	地域金融教育の一環として、管内の農業高校 3 年生を対象に「農業経営シミュレーションゲーム」の出前授業を実施。	R7. 10. 29
金融教育出前授業 (高校生向け)	くまがや	地域金融教育の一環として、管内の農業高校 3 年生を対象に「農業経営シミュレーションゲーム」の出前授業を実施。	R7. 11. 21
金融教育出前授業 (高校生向け)	ほくさい	地域金融教育の一環として、管内の農業高校 2 年生を対象に「農業経営シミュレーションゲーム」の出前授業を実施。	R8. 2. 2
こども食堂農業体 験	ふかや	こども食堂利用者 12 世帯 37 名の親子にて、ジャガイモ播種作業を行い、農業・食の大切さについての農業体験会を実施。	R8. 2. 5

以上